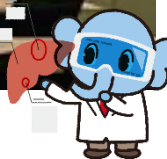


研修会事務局からのお知らせ（15～20分）

- ①新事業担当者紹介
- ②本日の予定(政策研究班)とアンケートのお願い（出席確認）
- ③今後の肝炎情報センター主催会議予定
- ④拠点病院間連絡協議会・研修会参加状況・担当者名簿
- ⑤事業/事務担当者へ改めてのお願い
相談支援システム管理/活用
補助金・戦略的強化事業費について



①新規事業担当者医師(最年長)紹介/ご挨拶 (会場参加8施設より)

山形大学医学部附属病院	内科学第二講座	准教授	芳賀 弘明 先生 (前任 上野先生)
群馬大学医学部附属病院	肝疾患センター	副センター長	山崎 勇一 先生 (前任 戸島先生)
福井県済生会病院	内科部長・肝疾患センター長		真田 拓 先生 (前任 平松先生)
京都府立医科大学附属病院	消化器内科	学内講師	瀬古 裕也 先生 (前任 山口先生)
大阪公立大学医学部附属病院	肝胆膵内科	部長	打田 佐和子 先生 (前任 榎本先生)
岡山大学病院	消化器内科	特任教授	川中 美和 先生 (前任 高木先生)
徳島大学病院	消化器内科	准教授	宮本 弘志 先生 (前任 高山先生)
宮崎大学医学部附属病院	消化器内科	講師	蓮池 悟 先生 (前任 永田先生)

* 10施設では肝疾患センター長or事業担当者最年長が肝臓専門医取得なし

②a-1 本日の予定→15分間の休憩X意見交換会後 肝炎等克服政策研究事業

議事 政策研究班からの進行状況の報告(25分 質疑込)

1. 「肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者のQOL向上等に資する研究」

東京大学医学部附属病院 消化器内科准教授 建石 良介

2. 「肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の
確立に資する研究」

肝炎情報センター 是永 匡紹

3. 全体 discussion (10分)

4. 閉会(最終パスワード有) ・集合写真撮影

肝炎情報センター 考藤 達哉

令和8年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院協議会
参加者向け研修会
2026年7月24日 14:30-15:30 (発表25分質疑込込み)



肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者
のQOL向上等に資する研究

建石良介¹ 奥新和也^{1,2} 小池和彦^{1,3}
東京大学¹消化器内科²感染制御部³関東中央病院

令和5~7年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金肝炎等克服政策研究事業
肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる
方策の確立に資する研究 (23HC0101)



国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 是永 匡紹



ドリンクバー
(意見交換会)
集合写真会場



肝炎室 4名
鹿児島大 2名
建石先生椅子へ
情報センター長
田中純子先生
建石先生椅子へ

* 荷物を置いて、
Bルームへ

11椅子の横も可能
2列目は前かがみ

②a-2 情報C研修会バッチ⇒肝Co養成後のバッチは均てん化(33→38道府県府県?)

ドリンクルームで展示中：福島・栃木・長野・山梨・東京・富山・岐阜・三重・香川・長崎等以外で作成

2017年度作成(政策研究費)



2018年度作成



2018年度作成⇒東京都に配布



メルカリで出品される県も

2a. 政策研究とは？

②b本日の予定→15分間の休憩後

14時30分から 終了15時30分迄

政策研究班とは？

肝炎研究事業（二つに分かれます）



2014年度までは全研究班が
集まって合同班会議
(研究班がガイドライン作成)

都市センターホテル



KKRホテル(2007～2014)



班研究者は成果発表会(感染研)
で聴衆可能→政策研究班成果は
報告書以外共有困難

厚生労働科学研究

9
課題

疫学・行政研究

肝炎等克服政策研究事業

↑AMEDではありません
では何を・・・?



肝炎等克服実用化研究事業

→ AMED (日本医療研究開発機構) が運用

63
課題

基礎・臨床研究

2015～

肝炎等克服緊急対策研究事業

肝炎に関する調査
及び研究

27
課題

創薬研究

2012～

B型肝炎創薬実用化等研究事業

肝炎医療のための
医薬品の研究開発の推進

厚生労働科学研究 肝炎等克服政策研究事業の9 課題→社会医学・公衆衛生学

疫学調査や医療体制確保・検査実施体制/検査能力向上・肝炎予防・人材育成・人権尊重等の施策立案

研究 類型	開始 年度	終了 年度	研究者名	所属研究機関	採択課題名
* 令和5(2023)年度～			* 令和8(2026)年度からrenewal		
指定	R5	R7	小池 和彦	東京大学医学部附属病院	肝がん・重度肝硬変の医療水準と患者のQOL向上等に資する研究 肝がん助成推進
一般	R5	R7	是永 匡紹	国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター	肝炎ウイルス検査受検率の向上及び受診へ円滑につなげる方策の確立に資する研究
指定	R5	R7	考藤 達哉	国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター	指標等を活用した地域の実情に応じた肝炎対策均てん化の促進に資する研究 肝炎医療均てん化推進状況
指定	R5	R7	野田 博之	国立健康危機管理研究機構	肝炎等克服政策研究事業の企画及び評価に関する研究
指定	R5	R7	江口有一郎	医療法人ロコメディカル ロコメディカル総合研究所	多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究 肝炎医療コーディネーター支援
指定	R5	R7	八橋 弘	国立病院機構長崎医療センター	様々な生活の場における肝炎ウイルス感染者の人権への望ましい配慮に関する研究 肝炎患者における差別偏見解消・人権尊重
令和6(2024)年度～					
一般	R6	R8	島上 哲朗	金沢大学医薬保健学総合研究科	ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝疾患診療連携体制構築に資する研究 ICT/遠隔医療による肝炎医療均てん化
指定	R6	R8	四柳 宏	東京大学医科学研究所	様々な状況での肝炎ウイルス感染予防・重症化・再活性化予防の方策に資する研究 最新の感染状況・重症化予防の推進
令和7(2025)年度～					
一般	R7	R9	田中 純子	広島大学 医療政策室／ 大学院医系科学研究科	ウイルス性肝炎eliminationに向けた全国規模の実態把握及び将来推計のための疫学研究 疫学調査・肝炎ウイルス撲滅推進に向けた施策

R8年度からはRenewalされた5課題：公衆衛生＝医療機関従事者は知っておいて欲しい 来年度成果発表予定(江口/八橋班)とブロック会議成果報告(考藤/田中班)

研究 類型	開始 年度	終了 年度	研究者名	所属研究機関	採択課題名
指定	R8	R10	建石 良介	東京大学医学部附属病院	肝がん・重度肝硬変の多様な病態等に対応した医療水準と患者のQOL向上等に資する研究
一般	R8	R10	是永 匡紹	国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター	肝炎ウイルス検査の受検及び受診の向上につなげる方策の策定のための研究
指定	R8	R10	考藤 達哉	国立国際医療研究所 肝炎・免疫研究センター	肝炎対策の均てん化の促進に資する、指標等を用いた地域の肝炎対策の取組状況の 分析と対応に関する研究 ブロック会議(毎年)
指定	R8	R10	横田 栄一	国立感染症研究所	肝炎等克服政策研究事業の企画及び評価に関する研究
指定	R8	R10	江口有一郎	医療法人ロコメディカル ロコメディカル総合研究所	肝疾患へのトータルケアに資する人材育成とその活動支援に関する研究
指定	R8	R10	八橋 弘	国立病院機構長崎医療センター	様々な生活の場における肝炎患者等の人権を尊重するための啓発・学び等に資する研究
一般	R7	R9	田中 純子	広島大学 医療政策室／ 大学院医系科学研究科	ウイルス性肝炎eliminationに向けた全国規模の実態把握及び将来推計のための疫学研究 ブロック会議(毎年)

**R9研修会
発表予定？**

2b. アンケート回答（出席確定）のお願い

②b-1 アンケート(8題+自由記載)回答のお願い

出席確認を兼ねていますので必ず返信をお願いします

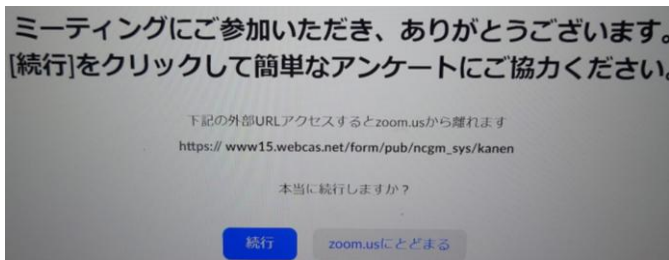
PWの聞き逃しに注意を現地参加者もお忘れなく！

① 下記のURLまたはQRコードを
利用してスマートフォンからでも可能

https://www15.webcas.net/form/pub/ncgm_sys/kanen_202607



② Web参加者はzoom退出後
下記メッセージが表示
→続行ボタンから回答を



③ top画面とPW入力

令和8年度
第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・
協議会参加者向け研修会
アンケートのお願い

本日は令和8年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、協議会参加者向け研修会ハイブリッド配信をご視聴いただきまして、誠に有難うございました。
お手数ですがアンケートへのご回答を宜しくお願い申し上げます。アンケート返信によって本会議の参加確認といたしますので、URL/QRコードより必ずご回答ください（名前・mail addressは匿名化されます。アンケート回収担当事務局 kanen@japan9.com より非返信者を確認後、情報センターからリマインドさせていただくことがございます）。
会議中に4か所で発表したパスワード(英数8文字)を必ずご入力ください（入力内容に間違いがあると登録できず、出席となりません）。

■パスワードを入力してください。

PW：英数字8文字

次へ

国立健康危機管理研究機構
JIHS 肝炎情報センター
Hepatitis Information Center

R5年度第1回から変更しています：
PWはこれまで数字4文字でしたが、
会議中にPW入力する事象 数件有
(未視聴内容を回答)

会議後に回答を
英大文字・数字のコンビを4か所表示

④ PWが正解なら個人情報画面
→質問に回答

■お名前を入力してください。

姓 是永 名 匡昭

■所属病院を選択してください。

00. 拠点病院以外

■職種を選択してください。

医師

■上記で選択された職種の年数を入力してください。

30 年
※1年以内の方は0を入力してから月を選択してください。

ヶ月目

■拠点病院（肝疾患相談支援センター）の役職をお聞かせください

どちらでもない

■視聴した実際の方法を選択してください。

現地

■会議後にDVDで再視聴希望されますか。

◎はい ○いいえ

■メールアドレスを入力してください。

dmkorenaga@hospk.ncgm.go.jp

確認のためもう一度入力してください。

dmkorenaga@hospk.ncgm.go.jp

②b-2 9問選択式、発表者への質問は匿名です + 最終画面(右上)⇒回答登録確認mail(右下)を確認ください

2) 連絡協議会について率直な感想を以下の中からお選び下さい。

2a. 会議全体について (1つ選択)

- ☐ 参考になった
- ☐ 参考にならなかった

参考になった・少し参考になった・どちらともいえない
・参考にならなかった

↓
R5年度からシンプルに2択へ

発表に対するご質問・参考にならなかった理由をご記載ください。

↑ 講演者に質問がある場合、参考にならなかったと
回答した場合は自由にご追記ください
(匿名で講演者に共有します)

↓ アンケート最終画面(確認要2)

令和8年度
第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・
協議会参加者向け研修会
アンケートのお願い

アンケートのご協力ありがとうございました。

尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただく場合がございます。
また、今後の肝炎情報センター事業計画への参考資料にさせていただきます。

国立健康危機管理研究機構
肝炎情報センター
JIHS Hepatitis Information Center

↓ 登録後にThanks mailが届きます(確認要3)

令和8年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会アンケートへのご回答ありがとうございました

K kanen@japan9.com

←アンケート回収事務局アドレス 情報センターと異なります

宛先: ⑤ 肝炎情報センター 事務局

この度は、令和8年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・
協議会参加者向け研修会アンケートへのご回答ありがとうございました。

アンケートの内容につきましては分析を行いまして、今後の肝炎・免疫研究
センター事業計画への参考資料にさせていただきます。
尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただ
く場合がございます。予めご了承ください。

kanen@japan9.com

肝炎情報センター
アンケート回収担当事務局

迷惑mail boxに分類?・mail アドレス
の間違いは?(キャッシュ残存)
再回答する前に上記を確認 +
アンケート回収事務局に連絡を

3a. 今後の情報センター主催会議予定

③a-1 今後の肝炎情報センター主催会議予定

↓ 情報センター強化事業費で旅費使用可能→会場参加の検討・参加者の選定と施設内共有

- 令和8年度 第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒ 2027年1月22日(金) (東京コンファレンスセンター品川5階 大ホールA) Hybrid

開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

研修会：アンケート希望からテーマ1題(B型肝炎？：発表者未定 + 令和8年度ブロック会議共有)

- 令和9年度 第1回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒ 2027年7月16日(金) (東京コンファレンスセンター品川5階 大ホールA)

Hybrid 開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

研修会：政策研究班成果報告(肝Co育成/活用 + 差別偏見解消/人権保護 予定)

7/2～分子標的(小樽)

7/22～肝がん研(福岡)

7/26～肝臓週間

- 令和8年度肝疾患診療連携拠点内肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会 (AP新橋30名限定)

⇒ 2026年8月29日(土) PM テーマ：アルコール依存とは？

- 令和8年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会 (AP八重洲東京 全施設参加希望)

⇒ 2027年2月27日(土) PM テーマ：未定

③a-2 今後の肝炎情報センター主催会議予定

昨年度の肝疾患相談・支援センター向け研修会(4～4.5時間)

～好事例から学ぼう！院内肝Co間連携向上と肝臓病教室/市民公開講座（啓発イベント）の集客増加～

1. 挨拶（13時～）

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター

肝炎情報センター長 考藤 達哉

厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

室長補佐 砂金 光太郎

2. 講義（13時5分～）

・「肝炎総合対策について」（15分） 肝炎対策推進室 砂金 光太郎

・「世界と日本の肝炎総合対策の今後版」（15分） 肝炎情報センター 考藤 達哉

・肝炎情報センターより（15分）

模範回答事例集について（5分） 相談回答例委員

活動報告集・テーマ選定について（10分） 肝炎情報センター室長 是永 匡紹

（10分休憩）

3. 好事例報告～肝Co間連携促進・啓発イベント集客向上～（14時～各5分）

・「院内Co連携の向上を目指して」

久留米大学病院 肝疾患相談支援センター 相談員/事務 中原 真由美

コメント 東北大(肝Co meeting)・千葉大(メディカルスタッフ向け勉強会)等

・「院外Co連携の向上を目指して」

広島大学病院 看護部 総括肝疾患コーディネーター 増田幸子

コメント 徳島大(プレミアムコーディネーター) 他

・「市民公開講座・肝臓病教室の集客数増加の鍵は」

大阪公立大学医学部附属病院 患者支援課 係長 中井 香奈子

コメント 福井県済生会(市民公開講座100名↑) 虎の門(肝臓病教室50名)

4. グループワーク（14時25分～）

・グループワークの進め方（5分）

肝炎情報センター 是永 匡紹

・院内外肝Co連携にむけて拠点病院肝Coが今後進めるべきことは？

・拠点病院が企画する患者・市民向けの教室・講座・研修会の参加者数増加のためには（開催方法・開催曜日・時間・テーマ・周知方法・発表者）

・その他：肝臓病教室と市民公開講座との違いは？ 肝Co研修会の活用は？

院外啓発活動の成功の鍵は？ （60分）

（15分休憩）

5. グループ別発表（15時45分～） 質疑応答 5分以内×13グループ

進行：久留米大学病院 中原 真由美

大阪公立大学医学部附属病院 中井 香奈子

・発表（各グループで1～2名が座席より発表 *PCを問いません）

6. 閉講式（17時～）

・受講証授与（各グループ1名）

・閉会の挨拶

肝炎情報センター考藤 達哉

参加状況：53施設 80名 肝Co 95%

↑ 医師を除く

R7年度 肝疾患相談・支援センター関係者向研修会→90%以上が肝Co取得済 拠点病院内肝Co情報共有会→身近な活動を均てん化→全施設参加を目指したい

久留米大:院内肝Co31名交流会

広島大：院外肝Co29名交流会

大阪公大: H6-2(191名)R7-1(173名)

H7-2(239名)

院内肝Coキックオフミーティング開催報告 2024年度

②Co研修会
【院内肝Coキックオフミーティング】
当院には現在55名の肝Coが在籍していますが、お互いの存在を知らないのはとてももったいないと思い、今回顔合わせを兼ねたキックオフミーティングを開催しました。
当日は業務時間外にも関わらず31名の肝Coが出席しました。(出席率56%)
<プログラム>
・センター紹介
・院内のC型患者拾い上げの状況
・イベント開催告知(肝臓週間・市民公開講座)
・自己紹介
ミーティングではコーヒープレイクをはさみ、とても和やかな雰囲気で見聞交換ができました。来年度のイベントにも他職種で参加したいとの声が上がリ、今後の活動が期待できるミーティングとなりました。



中原 真由美(久留米大学病院) 2025-03-03 13:32:19 データ利用：不可

参考になった 14

→東北大 10名 →千葉大 31名

鳥取大開催済・鹿児島/信州大も予定

2025年度 その他報告 2025年度

広島大学病院 肝疾患相談室の増田です。
医療圏毎のリーダーである特任肝疾患コーディネーターが集まり、以下のとおり会議を開催しました。

④その他
第1回特任肝疾患コーディネーター連絡協議会を開催

日時：2025年5月31日(土) 11:00~12:30
場所：広島大学きでみんさいラボ(広島駅直結の広島JPビルディング2F)
参加者：特任Co23名(認定者27名中)
広島県業務課肝炎対策グループ担当者2名
広島大学病院管理者1名

<内容>

1. 肝炎対策の動向について情報提供
2. 広島県や肝疾患診療連携拠点病院からの報告
 - ・Co養成講座やその他研修会での講師及びファシリテーターなど協力依頼
 - ・重症化予防の促進として、広島県におけるフォローアップシステム登録への協力依頼
 - ・2025年度予定している啓発イベントへの協力依頼など
3. 7.28世界肝炎デーでのイベントで使用する啓発資材について検討
今年は、@ひろくまとのコラボ商品を企画
4. グループワーク
 - ・2025年度活動(院内/院外)
 - ・院内Coの活動推進や後進育成について、特任Coができること検討していること
 - ・取り組みの中で苦渋していること

→徳島大・久留米大

和歌山大も医療圏別肝Coと連携会

令和7年度第2回肝臓病市民公開講座「肝臓病教室」を開催しました 2025年度

③啓発活動

肝臓病教室について以下のとおり開催しましたのでご報告いたします。
①令和7年度第2回肝臓病市民公開講座「肝臓病教室」

日時：3/8(日) 13:00-14:30
会場：あべのハルカス25階会議室
200名定員のところ239名と多くの方にご参加いただきました。
10月に教授就任された打田先生の司会によるパネルディスカッションも大盛況でした！

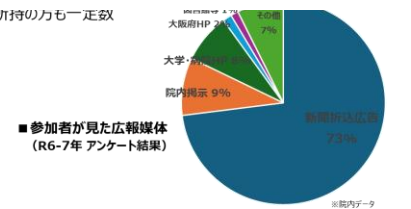
■参加者層の傾向 インターネット利用・スマホ所持の力も一足効
→アナログ媒体の重視が必要

■当院の広報(複数媒体の組み合わせ)

有料 アナログ
新聞折込(大阪市内中心)
無料 アナログ
院内掲示・チラシ配架
関連協力病院・登録医・医師会
大阪市内図書館
大阪市民学習センター・情報プラザ

無料 デジタル
大学・病院ホームページ・SNS
大阪肝臓友の会ホームページ
大阪府健活イベント情報ページ
おおさか健活マイレージ アスマイル

■“参加者証”の郵送 申込確認&リマインド



■参加者が見た広報媒体(R6-7年 アンケート結果)

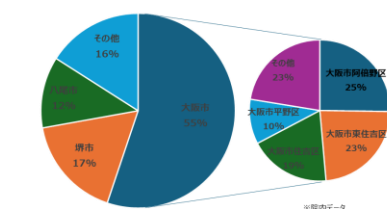


2. 情報を届けるための広報の工夫②

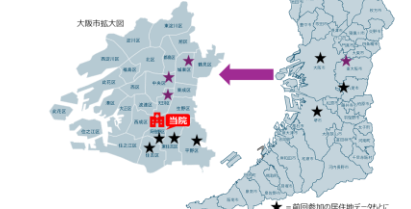
■新聞折込の工夫

配布エリア 前回申込者・参加者の居住地域データを基に毎回調整
実施時期 開催約1.5カ月前 → 予定を立てやすいように
折込日 日曜朝刊 → 他チラシが少なく視認性が高くなる

■前回参加者の居住地域別内訳



■アンケート結果に基づく新聞折込エリア



当院周辺エリアを中心に
約17万世帯にリーチ

③a-3 今後の肝炎情報センター主催会議予定

昨年度の肝疾患相談・支援センター向け研修会 動画と振り返り



○拠点病院内肝Co情報共有会：

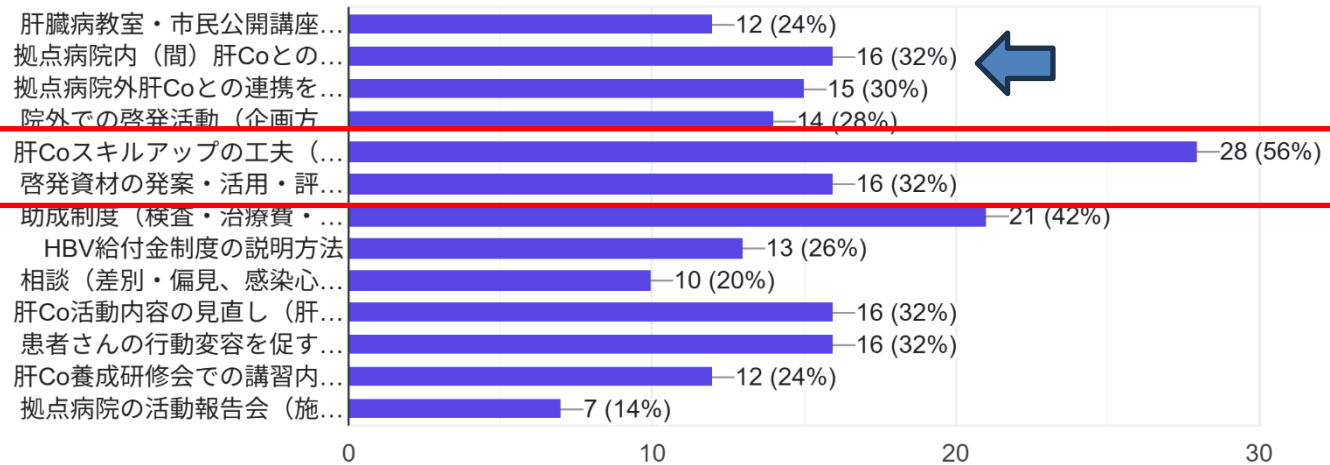
・Co同士の連携方法や講座開催に際して参加者増加を狙った広報の方法などを具体的に知る機会となりました。

○広めて欲しい取り組みを聞いた後の成果：

- ・久留米大を訪問し、院内肝Coの集まりなど取り組みをヒアリング
- ・院内の肝炎コーディネーター交流会を開催
 - ・申込者に対して、参加証の発行とともに限定ノベルティの抽選券として、参加者増加を見込んだ企画を検討

今後のテーマについてお聞かせください（複数可）

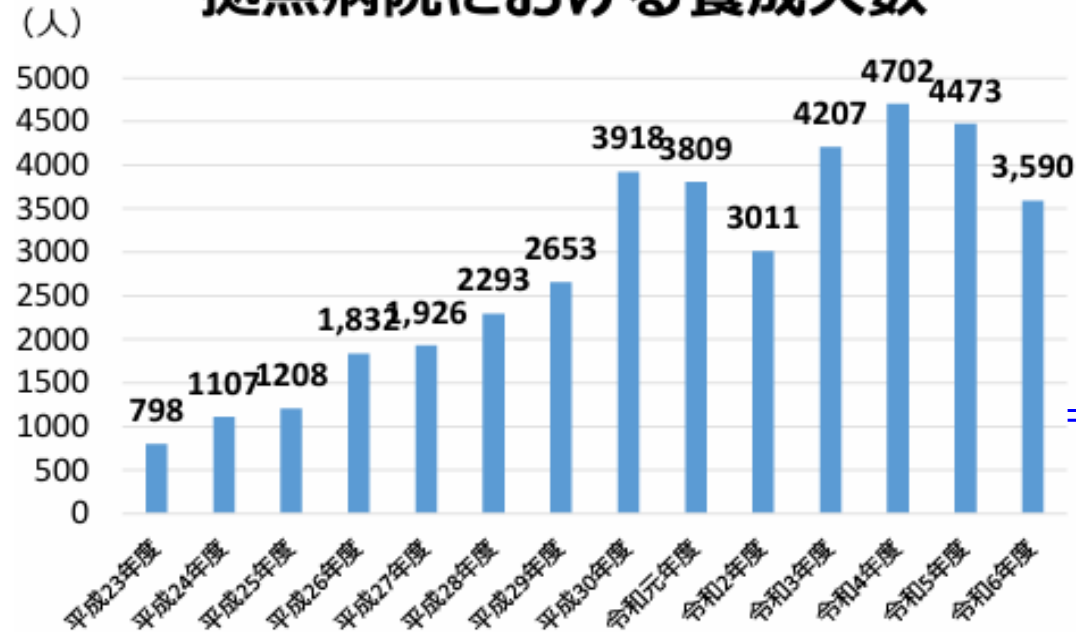
50 件の回答



③a-3 今後の肝炎情報センター主催会議予定

昨年度の肝疾患相談・支援センター向け研修会→院内肝Co把握・連携を

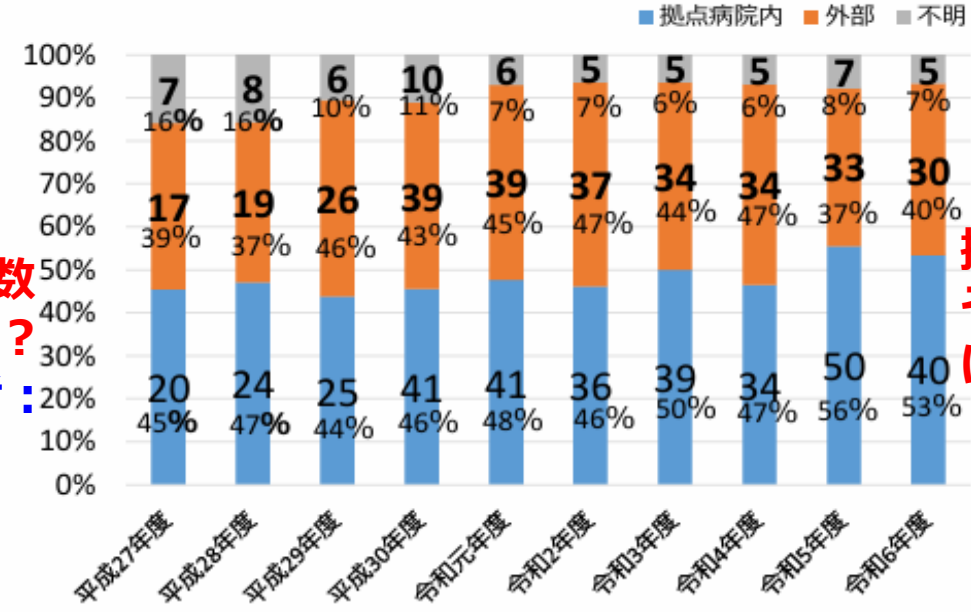
拠点病院における養成人数



拠点病院
総肝Co養成数
：約3.6万人？
⇒全国養成者：
約4万人

https://www.kanen.jihs.go.jp/facility/state_of_the_present/state_of_the_present_from_h21_to_r6_v2.pdf

コーディネーター配置状況



拠点病院：
それ以外
は1:1

協議会事前アンケート：院内肝Coについて

把握していないと回答：15施設（+3施設で回答乖離）

札幌・岩手・武蔵野・聖マリ・山梨・新潟・順天
三重・京府・大津・近畿・兵庫・神戸・香川・福山
（+虎の門・名古屋・広島）

・肝Co名簿管理*：拠点と共有25>自治体22

・肝Co養成研修会*
：共催20>拠点17>自治体>10
：研修時間 3時間(1.5-6.0時間)

* 都道府県
回答(R5)

・継続的な技術向上

：更新制度有 R3/26 ⇒ R6/32
：スキルアップ研修有 R3/36 ⇒ R6/43

③a-4 今後の肝炎情報センター主催会議予定

昨年度～拠点病院内肝Coスキルアップ研修会(3.5時間)⇒30名前後

開催年度	会場	参加施設数	参加人数	肝Co取得率
2016	市川	56	113	35%
2017	浜松町	54	120	37%
2018	浜松町	54	109	58%
2019	COVID-19のため中止			
2020	Web(オンデマンド配信)	60	203	67%
2021	新橋(ハイブリッド)	50	136	71%
2022	新橋(ハイブリッド)	52	108	90%
2023	新橋(現地のみ)	43	76	91%
2024	新橋(現地のみ)	42	70	97%

2023～
会場開催

会場参加数
・参加施設↓
+
肝Co取得者
・Repeater
増加
⇒活動支援！

日時：令和8年8月29日(土) 13時～16時30分

(12時30分～開場・受付開始 最長17時+意見交換会)

場所：AP新橋 5階Kルーム(現地開催) 5階Iルーム(意見交換会)

テーマ：アルコール依存症とは？

講師：独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター・瀧村剛 先生

＜研修の目的＞

1. アルコール依存症の概略を知る
2. アルコール依存症患者との関係性の構築について、考える手がかりを得る
3. 「難しい患者」に対する接し方について、他の参加者とともに検討する
4. 肝炎コーディネーターとして接する困りごとについて、会場全体で知恵と経験を分かち合う

＜研修の内容＞

【講義】90分程度

1. アルコール依存症について概説します
2. 普段精神科医がどのようにアルコール依存症患者と接しているのかをご紹介します

【実習(グループワーク)】90分程度

3. 「断酒をする気がない」、「正直に話してくれない」、「断酒をすると約束しても飲む」といった「難易度高め」の患者に対してなるべく陰性感情を抱かずに関わり続けるためにはどうすればよいか、各グループごとに議論していただきます
4. 「減酒でいいのか?」、「精神科受診を拒む」、「家族への対応」といった「肝炎コーディネーターあるあるの困りごと」について、各グループごとに議論していただきます

Question

どうやって依存症外来へ紹介させる？
依存症外来の好事例？
禁酒を促す有効な方法？

依存と依存症(身体依存と精神依存)の違いは？
依存症外来で行っている治療は(Bitとは?)
依存症と診断され節酒・減酒がありえるか？

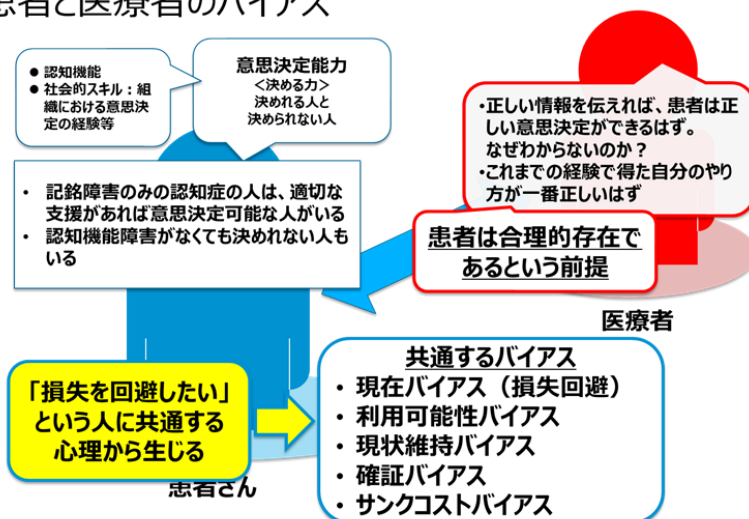
7月27日(月)締切
23施設28名申込
希望者は早めに

<https://forms.gle/iroERE1nD5ZdwVny5>
(6/12配信済)

～行動経済学を活用した効果的な患者支援～

生命予後に関わるからdiet/禁酒では・・・

患者と医療者のバイアス



3b. 今後の情報センター/肝炎対策推進室
共催会議予定

③b-1 R8年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議日程

世話人施設に改めて感謝します！ hybrid開催継続→できるだけ会場参加を

- 北海道・東北：9月29日 火曜日（札幌市） 北海道大 大原先生
◎札幌国際ビル貸会議室 8階国際ホール（札幌駅北口徒歩1分） 13時30分～
- 関東信越：10月27日 火曜日（さいたま市[大宮]）埼玉医大 内田先生
◎ソニックシティ大宮 4階国際会議室（大宮駅西口徒歩3分） 13時30分～
- 東海北陸：10月8日 木曜日（名古屋市） 名古屋大 本多先生
◎中日ホール 6階Board room（京都駅地下鉄東山線5分+13番出口） 13時～
- 近畿：10月20日 火曜日（京都市） 京都大 高井先生
◎京都府立京都学・歴彩館1階小ホール(京都駅地下鉄15分+北山駅徒歩4分) 13時～+意見交換会有
- 中国四国：10月16日 金曜日（米子市*） 鳥取大 永原先生
◎国際ファミリープラザ（米子駅から徒歩10分） 13時～
*保健所設置市外
- 九州：10月2日 金曜日（那覇市） 琉球大 前城先生
◎沖縄県市町村自治会館2階大ホール(空港モノレール10分旭橋駅+徒歩5分) 13時～

③b-2 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議のお願い

約50分毎休憩(意見交換)+時間延長+活動報告時間短縮(拠点病院は自治体と関連性がある内容を)

令和8年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議議事(案)

例年同内容

会議時間:各会場 3時間 30分

1.開会

2.議事

- (1)厚生労働省肝炎対策推進室からの説明
肝炎対策の現状と今後について

30分

肝炎室

- (2)政策研究の進捗報告

20分

「肝炎対策の均てん化の促進に資する、指標等を用いた地域の肝炎対策の取組状況の分析と対応に関する研究」の進捗報告
肝炎情報センター センター長 考藤 達哉

指標(政策研究)

休憩

10~15分

- (3)肝炎情報センターからの発表

45分

- 肝疾患診療連携拠点病院の現状調査
肝炎情報センター センター長 考藤 達哉
- 肝炎・肝がんの疫学2026地域ブロック
広島大学 理事・副学長、特任教授
肝炎・免疫研究センター長補佐 田中 純子
- 事務局からのお知らせ
肝炎情報センター 室長 是永 匡紹
- 質疑応答

情報C

疫学(政策研究)

休憩

10~15分

- (4)拠点病院からの事例発表
(地方公共団体との連携を含む)
1施設

15分(質疑込み)

拠点

- (5)地方公共団体からの事例発表
(拠点病院との連携を含む)
1施設

10分(質疑込み)

地方公共団体

- (6)総合討論(全体を通しての質疑含む)

40分

- 肝炎ウイルス検査の受検促進からフォローアップまでの支援体制の推進
- 肝臓専門医の偏在に対する肝炎医療提供体制の強化と持続可能な連携体制の構築
- その他(独自の重点的取組等)
- 来年度世話人挨拶

3.閉会

	拠点病院発表施設	拠点病院発表者	地方公共団体発表施設	地方公共団体発表者
北海道・東北	旭川医科大学病院 肝疾患相談支援室長	澤田康司	札幌市保健所感染症 総合対策課 感染症総合対策係	上野 高登
九州	琉球大学病院 第一内科・特命講師	前城 達次	熊本県健康福祉部 健康危機管理課 感染症対策班 主事	東坂 咲良
東海北陸	金沢大学医薬保健研究域 医学系消化器内科学 准教授	島上 哲朗	石川県健康福祉部 健康推進課 主事	二木 柊星
中国 四国	高知大学医学部 消化器内科学 病院教授	廣瀬 享	徳島県保健福祉部感染症対策課 健康支援担当 主任	吉次 真優
近畿	京都大学医学部附属病院 消化器内科 講師	高井 淳	京都市保健福祉局 医療衛生推進室 医療衛生企画課 健康危機対策担当課長	寺山 京美
関東信越	日立総合病院 副院長	鴨志田 敏郎	埼玉県保健医療部 疾病対策課 総務・疾病対策担当 主査	坂田 脩 21

③b-3 肝炎対策地域ブロック戦略合同会議のお願い

→参加募集・総合討論テーマは7/27配信予定～(8/21締*) *例年より1週間早

令和8年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議議事（案）

会議時間：各会場 3 時間 30 分

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 厚生労働省肝炎対策推進室からの説明
肝炎対策の現状と今後について

30 分

肝炎室

- (2) 政策研究の進捗報告
「肝炎対策の均てん化の促進に資する、指標等を用いた地域の肝炎対策の取組状況の分析と対応に関する研究」の進捗報告
肝炎情報センター センター長 考藤 達哉

20 分

指標

休憩

10～15 分

- (3) 肝炎情報センターからの発表 45 分
- 肝疾患診療連携拠点病院の現状調査
肝炎情報センター センター長 考藤 達哉
 - 肝炎・肝がんの疫学2026地域ブロック
広島大学 理事・副学長、特任教授
肝炎・免疫研究センター長補佐 田中 純子
 - 事務局からのお知らせ
肝炎情報センター 室長 是永 匡紹
 - 質疑応答

情報C

疫学

休憩

10～15 分

- (4) 拠点病院からの事例発表 15 分（質疑込み）
（地方公共団体との連携を含む）
- 1 施設

拠点

- (5) 地方公共団体からの事例発表 10 分（質疑込み）
（拠点病院との連携を含む）
- 1 施設

地方公共団体

- (6) 総合討論（全体を通しての質疑含む） 40 分
1. 肝炎ウイルス検査の受検促進からフォローアップまでの支援体制の推進
 2. 肝臓専門医の偏在に対する肝炎医療提供体制の強化と持続可能な連携体制の構築
 3. その他（独自の重点的取組等）
 4. 来年度世話人挨拶

3. 閉 会

◎総合討論テーマ：特記事項がない施設も締切までに返信を

1. 肝炎ウイルス検査の受検促進からフォローアップまでの支援体制の推進

住民、職域、妊婦、術前検査等における受検勧奨の取組・陽性判明後の精密検査・受診につなげる取組および受診率向上の工夫・SVR後の継続follow up率

2. 肝臓専門医の偏在に対する肝炎医療提供体制の強化と持続可能な連携体制の構築

拠点病院、専門医療機関、かかりつけ医間の役割分担および連携の実態・遠隔医療やICTを活用した診療支援・連携強化の進捗状況・肝Co配置状況を考慮した戦略的活用

3. その他（独自の重点的取組等） 医療関係業者主催・共催の企画の紹介不可

◎ 今年度は活動事例・総合討論は他ブロックもweb視聴可能

■昨年度から他地域のブロック会議をweb視聴可能（注：活動報告・総合討論のみ）

となっています。

ご視聴されたい地域があれば、選択ください（複数可、ご自身の地域ブロックを除く）。

*昨年度も希望者の20%弱しか実際に視聴が確認できず、ご予定を確保できる日をお選びください。

☐ 関東信越（10月27日15時45分頃～）

☐ 東海北陸（10月8日 15時15分頃～）

☐ 近畿（10月20日 15時15分頃～）

☐ 中国四国（10月16日 15時15分頃～）

☐ 九州（10月2日 15時15分頃～）

☐ 視聴を希望しない

視聴できる日を絞って
選択しましょう
出席者はオンデマンド視聴も可能

4. 連絡協議会・連絡協議会向け研修会とは

④-1 拠点病院間連絡協議会・連絡協議会参加者抜け研修会の変遷 144名(各施設2名)は可能です→全施設+事業担当者の会場参加

2017～2020(social distance無 140名参加)



2021～2023(100名以内・横長)



2024～大ホールへ



2025～クールビズ可能

場所：国立国際医療研究C(新宿)→品川・丸の内

時間：10時～16時(8h)→13時～16時(約3h)

休憩：1h昼食有→5分→15分(ドリンクバー→
意見交換を考慮)

形式：会場→オンデマンド→ハイブリッド

座席：ブロック毎に前方→後方へ移動

対象：会場→事業担当者医師 web→事務担当
者・名簿以外の相談支援センター関係者

④-2 拠点病院間連絡協議会・研修会の参加状況

コロナ前140名⇒ハイブリッド200名 目標：全施設事業担当医師の会場参加＋事務担当者参加

	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2
現地参加人数	143	149		
現地参加施設数	71	71		
LIVE				
オンデマンド			218	204



	R4-1	R4-2	R5-1	R5-2	R6-1	R6-2	R7-1	R7-2	R8-1
現地参加人数	30	42	80	94	103	116	120	119	123
現地参加施設数	25	34	57	62	67	71	72	70	70
現地事業担当医師 参加施設数	17	22	48	54	56	66	69	69	69
現地率	16.3%	22.2%	42.8%	49.2%	50.5%	58.6%	57.1%	58.9%	60.0%
総参加人数	184	189	187	191	204	198	210	202	205

拠点病院名簿（4名まで登録可能・関係者に転送・纏めを）

*7/21 17時現在

- Webで申請可能（2024年8月～）
- 固定URLと拠点病院毎にID/PW送付済
- ログインすると担当者・情報Cにmail送信

○事業担当者(医師)会場参加無：3施設

南和歌山・獨協・砺波(web参加)

南和歌山/獨協（前回参加）・砺波(5月末新担当者へ)⇒次回は

○事務担当者参加無：0⇒2施設

茨城医(2回連続直前欠席)・名市(7月異動⇒連絡無)

R5-1(19)→R5-2(23)→R6-1(7)→R6-2(11)

R7-1(5)→R7-2(1)

重要：事業・事務担当者の役割

異動決定時に必ず変更・URL/PWの共有を

施設内で担当者に確認・肝疾患センター関係者への情報共有

ログイン画面

肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム

ユーザーID
HokkaidoUniversityHospital

パスワード

ログイン

担当者選択画面

どなたが使用しますか。

事業担当者 齊藤 伸章 nobukisaito@example.jp

事務担当者 松村 健彦 matsumura613@example.jp

未登録者（閲覧のみ）

通知メールの例

肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム

ログイン通知
小林 翔平 さん

システムにログインが完了したことをお知らせします。ログインに心当たりがない場合は肝疾患センターまでお問い合わせください。

肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム

Regards,
肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム

If you're having trouble clicking the "肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム" button, copy and paste the URL below into your web browser: <https://dev.kyoten.kanen-soudan.com>

© 2024 肝疾患診療連携拠点病院担当者連絡先名簿管理システム. All rights reserved.

- ログインはユーザーIDとパスワードによって行います。
- ユーザーIDとパスワードは事前に各拠点病院に配布します。
- 原則として1施設1ユーザーとし、施設内でユーザーIDとパスワードを共有します。

- 登録済みの担当者の中から操作中の利用者を選択します。
- 登録済みの担当者以外が操作する場合は「未登録者」を選択します。
- セキュリティのため、選択した担当者のメールアドレス宛にログイン通知が届きます。

<https://dev.kyoten.kanen-soudan.com/login>

④-4 拠点病院間連絡協議会・研修会について(基本)

施設長の推薦（代理）者が参加⇒事業・事務担当者の再構成＋病院内認知向上を

目的

都道府県肝疾患診療連携拠点病院の機能強化
や拠点病院間の連携強化について協議するため

⇒施設長（院長・理事長）
代理です(所属部長推薦
許可ではありません)

構成

- 1.都道府県肝疾患診療連携拠点病院 病院長又は病院長が推薦する者
- 2.国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター長
- 3.国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター長

相談支援センターの共有会議は3月開催の
研修会⇒メディカルスタッフの会場参加
はこちらへ・・・

内容

- 1.肝疾患情報の収集・提供に関すること
- 2.肝疾患診療等に係る人材育成に関すること
- 3.その他協議会の運営に必要な事項

- ・事業担当者は実質拠点病院代表者
- ・メディカルスタッフが事業担当者登録の場合
十分はサポート体制を

出席対象（名簿登録4名 注：対象以外の参加も可能です）

⇒事業担当者(医師or実務担当医師)・事務担当者（病院事務・相談センター事務担当）
拠点病院事業の代表（施設長代理）として登録⇒参加は病院業務⇒施設長に担当者を共有

お願い

⇒事業(医師)・事務担当者2名で会場参加が理想⇒2名まで交通費支給可能

⇒事業担当医師が参加できない場合を考慮し、実務担当医師を事業担当者として登録

⇒事務担当者：会議出席者管理・情報共有・異動時変更届・予算関係窓口・協議会参加

④-3 拠点病院間連絡協議会・研修会について(基本)

事業担当者・事務担当者の認知度調査⇒3年前より向上確認(事業担当者の認識改善)

R8年 協議会事前アンケート：拠点病院担当者（自分の役割）について

- ・事業担当者が施設長と回答：2名（岐阜大 清水先生＝病院長のみ）
- ・事業・事務担当者が担当者以外と回答：21名（→事業担当者6名）
- ・名簿外なのに事業・事務担当者と回答：6名（事業担当者1名）

認知度：86%

R5年 協議会事前アンケート：拠点病院担当者（自分の役割）について

- ・事業担当者が施設長と回答：19名
- ・事業・事務担当者が担当者以外と回答：14名（→事業担当者11名）
- ・名簿外なのに事業・事務担当者と回答：12名（→事業担当者12名）
- ・事務担当者が事業担当者と回答：4名

認知度：74%



改めて役割確認
異動時、新規担当者に継承ください

5. 事業・事務担当者・参加者へのお願い

○相談支援システム

- ・5a活動報告
- ・5bシステムユーザー管理
- ・5c相談件数入力と今後

⑤a-1 参加者へ改めてのお願い 相談支援システム：活動報告



肝疾患患者相談支援システム

✎ 本日までの全国総登録件数： 101415 件 （自施設： 0 件）

New 2025/12/24 模範回答を掲載しました
・ ウイルス性肝炎感染のリスク・感染予防の注意点
・ B型肝炎訴訟給付金について



【NEWS】 🌻「質問箱」「活動報告箱」に投稿があります！ご意見や

- 2026/07/21 🌻 お世話になります。和歌山医大肝疾患相談支援セン...
- 2026/07/21 🌻 愛知医科大学病院：令和8年度第1回肝臓病教室
- 2026/07/17 🌻 島根大学医学部附属病院：活動計画
- 2026/07/17 🌻 順天堂大学医学部附属静岡病院：2026年度 活動計画 ②
- 2026/07/16 🌻 山形大学医学部附属病院：更生保護施設でウイルス性肝炎に関する講演会を開催
- 2026/07/14 🌻 岐阜大学医学部附属病院：医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」を開催しました。
- 2026/07/14 🌻 虎の門病院：食育SATシステムを用いた肝臓病教室開催報告
- 2026/05/26 【令和7年度 相談記録の登録は5月31日までに】昨年度分の相談記録(相談対応実績)は令和8年5月31日が登録の締め切り日です
- 2026/04/14 【令和7年度 活動報告の投稿は4月30日までに】昨年度分

✎ ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/15

最近の活動報告まとめ (PDFデータ) 4/8

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト (お役立ちサイト)

肝臓専門医一覧 (日本肝臓学会)

肝疾患相談支援センター

活動報告箱

前のページへ戻る

最近の投稿

- 2026/07/21 愛知医科大学病院：令和8年度第1回肝臓病教室
平素より大変お世話になっております。病棟内にて開催した肝臓病教室の活動報告をさせていただきます。 ...
- 2026/07/17 島根大学医学部附属病院：活動計画
①肝臓病教室（サロン含） ・第1回 7月1日～10月31日 動画配信中 ・第2回 11月1日...
- 2026/07/17 順天堂大学医学部附属静岡病院：2026年度 活動計画②
順天堂大学医学部附属静岡病院肝疾患相談支援センターの川口です。今年度の活動計画についてご報告いた...
- 2026/07/16 山形大学医学部附属病院：更生保護施設でウイルス性肝炎に関する講演会を開催
④その他 PWUD関連研修会 更生保護施設「羽陽和光会」において、肝炎ウイルスに関する講演会を...
- 2026/07/14 岐阜大学医学部附属病院：医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」を開催しました。
④その他 医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」を岐阜県医師会とともに開催いたしました。 ...
- 2026/07/14 虎の門病院：食育SATシステムを用いた肝臓病教室開催報告
①肝臓病教室（サロン含） ◆6月27日（土）「実際に運んでみよう！食品サンプルで気が付く食事」ラン...
- 2026/07/13 信州大学医学部附属病院：肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に関する院内研修を開催しました
②Co研修会（養成・継続） 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に関する院内研修を開催しましたの...
- 2026/07/10 山梨大学医学部附属病院：肝臓なんでも相談会を開催しました
④その他 2026年7月4日（土）にイオンモール甲府にて肝臓なんでも相談会を開催しました。 ...
- 2026/07/10 高知大学医学部附属病院：2026年市民公開講座 聞いて得する肝臓の話
③啓発活動（肝臓週間等に向けて） 本活動は肝臓週間にあわせた市民公開講座として実施いたしました...
- 2026/07/10 武蔵野赤十字病院：6～7月分の活動報告をさせていただきます。
① 肝臓病教室 ・第2回 7月8日（水）「肝臓と胃腸のよろず相談会」 参加者12名。予約不要...
- 2026/07/10 滋賀医科大学医学部附属病院：第1回肝臓病教室開催報告
①肝臓病教室 ・日時：令和8年7月3日（金）14時～16時 ・参加者：会場 11

国 活動報告を投稿する

活動報告（施設別）

- ▶ 北海道・東北
- ▶ 関東・甲信越
- ▶ 東海・北陸
- ▶ 近畿
- ▶ 中国・四国
- ▶ 九州・沖縄
- ▶ その他

活動報告まとめ (Agenda集)

肝臓病教室・肝炎医療コーディネーター研修会Agenda集2021-2023年度(86MB) 2024/03/05

肝臓病教室・肝炎医療コーディネーター研修会Agenda集2024年度(77MB) 2025/04/17

肝臓病教室・肝炎医療コーディネーター研修会Agenda集2025年度(86MB) 2026/04/08

過去の活動報告まとめ

活動報告 (R2年度) 2023/07/06

活動報告 (R3年度) 2023/07/06

R2年度 59施設
R3年度 44施設 (1施設はHP/FBのみ)
R4年度 56施設 (2施設はFB共有のみ)
R5年度 68施設
R6年度 71施設 (1施設はHP/FBのみ)
R7年度 72施設
→R8年度 40(去年は42)施設報告

⑤a-2 参加者へ改めてのお願い
相談支援システム：活動報告

○2021年度～月平均のアクセス・ユーザー数の推移（赤 低値 青 高値）
⇒ログイン・活動報告閲覧施設・ユーザー数・アクション数が上昇

○2023～投稿画像を記録集にして配布
⇒システム内からPDFでDL可能

	2021 (R3)年度	2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度
ログイン施設数	66.7 (64-69)	69.0 (66-71)	70.9 (70-72)	71.8 (70-72)	71.3 (70-72)
登録施設数	56.4 (52-60)	56.3 (50-60)	57.6 (52-64)	53.1(45-57)	52.8(49-56)
記載ユーザー数	80.8 (64-92)	81.5(71-89)	82.8 (76-103)	77.6 (71-89)	78.3 (73-88)
質問箱・活動報告閲覧施設	58.0 (51-63)	64.6(61-67)	67.8 (64-71)	68.6(64-71)	68.0 (65-71)
上記閲覧ユーザー数	120 (83-152)	155 (128-186)	184 (158-213)	182 (173-213)	186 (163-215)
参考：ユーザー数(月平均)	444	405*	340	332	328
参考：アクション数 (月平均)	22,789	24033	30,286	33,041	34,858



○投稿回数・閲覧数・参考数からベスト投稿施設を決定

データの期間：2025年1月1日～2025年6月30日						
施設名	投稿回数	総ユーザー数	投稿あたり	表示回数	「参考になった」	総合順位
虎の門病院	12	171	91.3	1096	11	1
広島大学病院	12	150	71.1	853	15	2
鳥取大学医学部附属病院	11	160	76.5	842	12	3
大阪公立大学医学部附属病院	9	148	85.4	769	14	4
大分大学医学部附属病院	10	137	79.9	799	9	5
徳島大学病院	9	135	81.6	734	12	6
熊本大学医学部附属病院	10	152	69.2	692	16	7
愛知医科大学病院	6	120	95.7	574	17	8
香川大学医学部附属病院	10	142	65.3	653	13	9
横浜市立大学附属病院	10	150	63.4	634	13	10

投稿事例を翌日AM8:30 に配信

肝疾患患者相談支援システムシステム管理者
宛先: 〇是永 匡紹

7月14日の投稿件数：2件

【相談支援システム】活動報告箱の新作投稿

2026/07/14 16:26:07 | 虎の門病院
■ 食育SATシステムを用いた肝臓病教室開催報告
↳①肝臓病教室（サロン含）◇6月27日（土）「実際...
https://kanen-soudan.ncgm.go.jp/activity/activity_detail/1018/1235

2026/07/14 16:52:58 | 岐阜大学医学部附属病院
■ 医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」...
↳④その他 医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎...
https://kanen-soudan.ncgm.go.jp/activity/activity_detail/1034/1236

投稿内容の詳細（全文）はログインしてご確認ください。

同日3施設数以上は閲覧低下
ユーザー 閲覧

鹿児島大学病院	2026/5/20 10:12	105	67
北海道大学病院	2026/5/20 10:47	70	48
久留米大学病院	2026/5/20 16:23	61	49
藤田医科大学病院	2026/5/20 19:00	57	41
北海道大学病院	2026/5/21 9:22	119	80

5/20 4施設 5/21 1施設

⑤a-3 参加者へ改めてのお願い

相談支援システム：活動報告→情報Cホームページにも転載し全国へ



小 中 大

アクセス | お問い合わせ

English
英語

中文
中国語



肝炎情報センターについて

肝臓の病気について

拠点病院について

資料庫

肝炎情報 センターの使命

連携 肝疾患診療連携拠点病院とともに

情報 肝疾患診療のソフトウェア・リソース

研修 明日の肝疾患診療・相談業務に活かす

肝炎・免疫研究センター

拠点病院と相談・支援センターを探す

新着情報

研修会・連絡協議会

拠点病院の取り組み

一覧

2026年7月17日

令和8年度 第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・連絡協議会参加者（医師・事業/事務担当者）開催のお知らせ～資料を掲載いたしました

2026年7月1日

肝炎対策に係る意見交換会（和歌山県）を開催しました

⑤b-1 事業/事務担当者へ改めてのお願い

相談支援システム管理(拠点病院事業・事務担当者と異なる場合有→確認を)

肝疾患患者相談支援システム

ログイン

ユーザーID
ICE101

パスワード
.....

ログイン

*個別で管理
→共有mail addressは登録禁

肝疾患患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数: 84519 件 (白痴説: 0 件)

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/20

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

リンク集

- 肝炎情報センター
- 厚生労働省 関連サイト
- 各種ガイドライン
- 政策研究開発ウェブサイト (お立ちサイト)
- 肝臓専門医一覧 (日本肝臓学会)
- 肝疾患相談支援センター

【NEWS】

- 2025/01/22 近畿大学病院: 近畿大学病院 活動報告 (2024年10月~12月)
- 2025/01/20 武蔵野赤十字病院: 武蔵野赤十字病院です。活動報告 (2024年11月~12月)
- 2025/01/17 名古屋市立大学病院: 令和6年度 第二回肝臓病教室の開催について
- 2025/01/17 名古屋市立大学病院: 令和6年度 肝疾患に関する医療従事者研修会について
- 2025/01/16 高知大学医学部附属病院: 肝疾患医療コーディネーターフォローアップ研修会
- 2024/06/17 トップページに動画「相談支援システム運用マニュアル」「肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会」を掲載しました。

相談内容の記録・検索・編集

肝疾患患者相談支援システム

相談記録 (新規)

公開事例

2025 年 01 月 22 日

相談対応者: 是永 匡紹 記録番号: 相談回数:

記録の同意: ☐ あり ☐ なし

相談する人の区分	相談形態	相談対応者属性
☐ 自院 ☐ その他	何れか選択	何れか選択

相談する人	相談者検索情報
何れか選択	相談者検索情報

相談者の連絡先	連絡先

患者さんの性別	患者さんの年齢(年代)	患者さんの都道府県
☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 未聴取・不明	何れか選択	何れか選択

- ・システム責任者: ユーザー管理・記載内容確認 個人情報管理
- ・システム管理者: 責任者の代行・責任者へシステム情報共有
- ・一般ユーザー (記載可能・閲覧のみ)

⇒青字:6か月連続アクセス無でユーザー削除

+再登録可能: 1か月以内にアクセス無or3ヶ月間連続アクセス無

システム責任者 (多くは事業担当者) →ログインされないかたも→管理者 (代理) 設定
システム管理者と拠点病院事務担当者は異なります!! ユーザー変更等は責任者・管理者のみ

⑤b-2 事業/事務担当者へ改めてのお願い

相談支援システム管理(システム内で変更可能⇒責任者・管理者のみ)

本日までの全国総登録件数： 101415 件 (自施設： 0 件)

New 2025/12/24 模範回答を掲載しました
・ ウイルス性肝炎感染のリスク・感染予防の注意点
・ B型肝炎訴訟給付金について



【NEWS】 「質問箱」「活動報告箱」に投稿があります！ご意見や

- 2026/07/21 お世話になります。和歌山医大肝疾患相談支援セン...
- 2026/07/21 愛知医科大学病院：令和8年度第1回肝臓病教室
- 2026/07/17 島根大学医学部附属病院：活動計画
- 2026/07/17 順天堂大学医学部附属静岡病院：2026年度 活動計画 ②
- 2026/07/16 山形大学医学部附属病院：更生保護施設でウイルス性肝炎に関する講演会を開催
- 2026/07/14 岐阜大学医学部附属病院：医療従事者を対象とした「ウイルス肝炎研修会」を開催しました。
- 2026/07/14 虎の門病院：食育SATシステムを用いた肝臓病教室開催報告
- 2026/05/26 【令和7年度 相談記録の登録(は5月31日までに)】昨年度分の相談記録(相談対応実績)は令和8年5月31日が登録の締め切り日です
- 2026/04/14 【令和7年度 活動報告の投稿は4月30日までに】昨年度分

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/15

最近の活動報告まとめ (PDFデータ) 4/8

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト (お役立ちサイト)

肝臓専門医一覧 (日本肝臓学会)

肝疾患相談支援センター

①ユーザー変更はシステム内から可能

ユーザー追加*

氏名	ニックネーム	権限	メールアドレス	パスワード パスワード (確認)	地方公共団体
				 	☐
確認					追加

※パスワードは8字以上で半角英小文字、大文字、数字を各1文字以上使用

②運営管理係（問い合わせ先）は情報Cではありません！

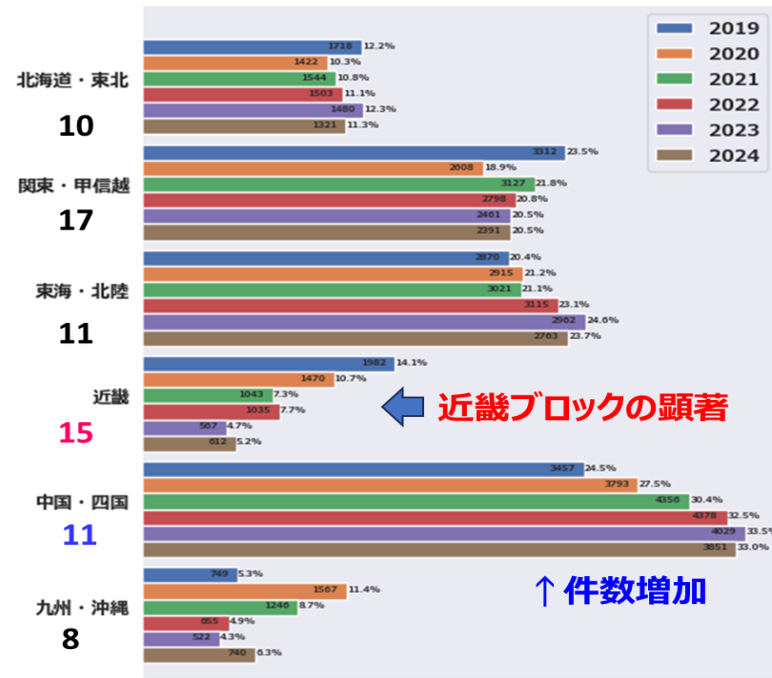
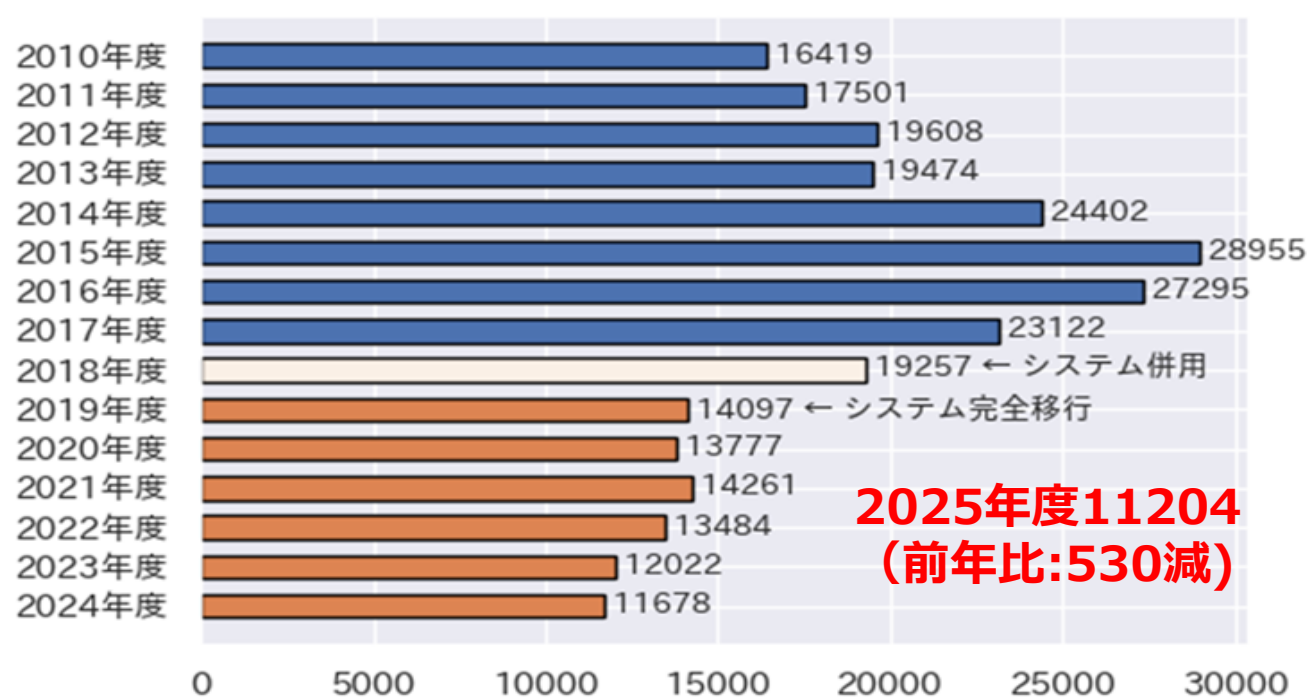
kanen-soudan@datalake-sys.co.jp

システム内にマニュアル動画掲載



⑤c-1 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い

相談支援システム：相談件数入力 減少数低下も登録数は2曲化+近畿ブロック登録数減



相談件数が25件（月2件相談対応無）未満 年度 施設数：

2019年度：11 2020年度：14 2021年度：15 2022年度：21 2023年度：25 2024年度：26
2025年度：24 2026年度：22（横市・三重→6年連続25件未満から上昇→感謝です）

参考 25件未満 22施設（）内は今年度件数 *近畿 9 施設

7年連続：福島10 横医0 大津3 大阪2 南和歌山11 高知4 6年連続：山形7 自治5 宮崎1

5年連続：京府5 4年連続：秋田21 市秋0 信州14 聖マリ2 新潟1 2 近畿3 神戸4

3年連続：藤田15 大公15 兵庫24 2年連続：無（獨協・滋賀再開に感謝です）今年度：京都11 琉球14

⑤c-2 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い

システム活動使用指標からみた令和6年度優秀施設（ベスト4）

↑施設を選択	実数					スコア（0～1） 緑:Good 赤:Poor					
チャート 面積1位 時期 広島大	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	総合順位/ 評価対象 施設数
2020年度	1501	146.5	0.2	21.0	30.0%	0.98	0.55	0.60	0.54	0.45	19/57
2021年度	1889	239.5	0.0	5.7	77.2%	0.99	0.78	0.89	0.67	0.88	1/56
2022年度	1767	316.2	6.7	2.0	71.0%	0.99	0.92	1.00	0.75	0.83	1/51
2023年度	1544	360.3	7.7634	9.7	78.5%	0.98	0.96	1.00	0.63	0.88	2/46
2024年度	1084	269.1	6.1092	2.4	94.3%	0.98	0.84	0.98	0.75	0.96	1/48
2025年度	1364	315.3	5.7621	0.4	88.9%	0.98	0.91	0.95	0.90	0.93	1/50
(参考：全施設中央値)	63	183.6	0.12	7.9	54.2%	0.49	0.51	0.50	0.50	0.50	

300件↑

↑施設を選択	実数					スコア（0～1） 緑:Good 赤:Poor					
チャート 面積3位 時期 島根大	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	総合順位/ 評価対象 施設数
2020年度	196	105.8	0.5	0.3	47.2%	0.78	0.42	0.50	0.92	0.60	16/57
2021年度	244	196.2	0.1	0.4	70.8%	0.81	0.68	0.65	0.88	0.82	8/56
2022年度	206	179.1	4.0	0.3	86.1%	0.78	0.63	0.70	0.91	0.92	8/51
2023年度	208	211.4	5.5491	1.2	97.2%	0.79	0.73	0.95	0.80	0.98	6/46
2024年度	273	214.9	5.8464	-2.1	80.6%	0.82	0.74	0.96	1.00	0.90	2/48
2025年度	209	217.6	6.3421	-3.0	83.3%	0.79	0.74	0.98	1.00	0.89	3/50

↑施設を選択	実数					スコア（0～1） 緑:Good 赤:Poor					
チャート 面積2位 時期 鳥取大	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	総合順位/ 評価対象 施設数
2020年度	214	182.0	2.0	0.2	14.5%	0.80	0.64	0.33	0.94	0.33	20/57
2021年度	120	280.0	1.6	0.9	41.8%	0.66	0.86	0.37	0.82	0.56	22/56
2022年度	162	247.1	3.9	0.2	66.1%	0.75	0.80	0.68	0.93	0.79	9/51
2023年度	176	308.7	6.0259	0.1	84.9%	0.76	0.91	0.96	0.97	0.92	1/46
2024年度	132	280.5	5.1874	1.5	85.3%	0.68	0.86	0.92	0.77	0.92	6/48
2025年度	184	335.5	6.2166	0.3	88.8%	0.77	0.94	0.98	0.91	0.93	2/50
(参考：全施設中央値)	63	183.6	0.12	7.9	54.2%	0.49	0.51	0.50	0.50	0.50	

虎の門病院	実数					スコア（0～1） 緑:Good 赤:Poor					
↑施設を選択	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	1. 相談 件数	2. 平均 自由記 述文字 数	3. 平均 未入力 項目数 ／ 2022以 降は公 開事例 活用指 数	4. 入力 までの 平均日 数	5. シス テム閲 覧ユー ザー率	総合順位/ 評価対象 施設数
2020年度	611	420.6	0.2	13.8	60.0%	0.93	0.99	0.61	0.60	0.73	3/57
2021年度	858	371.2	0.1	35.2	86.7%	0.95	0.97	0.69	0.48	0.93	4/56
2022年度	1019	321.7	6.1	55.1	83.3%	0.97	0.93	0.98	0.42	0.91	4/51
2023年度	900	383.1	6.5177	44.9	100.0%	0.96	0.98	0.99	0.44	1.00	4/46
2024年度	975	377.7	6.0936	72.7	100.0%	0.97	0.97	0.97	0.39	1.00	4/48
2025年度	900	387.4	5.9839	29.8	100.0%	0.96	0.98	0.96	0.50	1.00	4/50

⑤c-3 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い 相談体制を「なぜ」向上させないといけないのか？

■ 政策、制度概要

平成29年度 第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 肝炎対策推進室「今後の肝炎総合対策」より改変

「肝炎対策基本指針」第4(2)シにおいて、「肝炎患者等への相談対応について、都道府県及び肝疾患診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）は、地域の実情に応じて適切な体制を整備する。」とされており、様々な状況におかれた肝炎患者等の相談体制を充実させることが求められているところ。

このため、平成26年度から28年度まで厚生労働科学研究費補助金「肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築・運用・評価に関する研究（八橋班）」において、「肝疾患患者相談支援システム」を構築し、研究協力機関にて試験的運用をしてきたところ。運用の結果、当該システムの有用性が認められることから、全国の拠点病院に導入し、肝炎患者の相談支援に活用することとする。

■ 対象業務

本システムでは、拠点病院等における相談員等が、肝炎患者からの様々な相談内容を個人情報に十分に配慮して記録・検索・編集し、個々の事例に適した対応ができるよう、補助ツールとしての活用が期待され、全国的な相談員の質の均てん化により、肝炎患者の悩みの軽減や生活の質の向上へとつなげることができる。

- ・ 肝炎患者等の相談対応を充実させることは肝炎対策基本指針に基づく
- ・ 肝疾患相談・支援センター運営費用（国と都道府県）+ 情報Cシステム運用費用（国）



拠点病院→相談機能体制を維持・向上
情報センター→相談に対する回答の（質の）均てん化
が求められる

⑤c-4 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い

相談対応の均てん化促進を目指して→1 公開事例（回答者が他ユーザーにも共有したい質問を投稿）



肝炎患者相談支援システム

2600件以上

本日までの全国総登録件数： 101415 件 （自施設： 0 件）

New 2025/12/24 模範回答を掲載しました
・ウイルス性肝炎感染のリスク・感染予防の注意点
・B型肝炎訴訟給付金について



【NEWS】コメントをお待ちしています。

2026/07/21 お世話になります。和歌山医大肝炎相談支援セン...

2026/07/21 愛知医科大学病院：令和8年度第1回肝臓病教室

2026/07/17 島根大学医学部附属病院：活動計画

2026/07/17 順天堂大学医学部附属静岡病院：2026年度 活動計画②

2026/07/16 山形大学医学部附属病院：更生保護施設でウイルス性肝炎に関する講演会を開催

2026/05/26 【令和7年度 相談記録の登録は5月31日までに】昨年度分の相談記録(相談対応実績)は令和8年5月31日が登録の締め切り日です

2026/04/14 【令和7年度 活動報告の投稿は4月30日までに】昨年度分の活動報告は令和8年4月30日 木曜日が投稿の締め切り日です（それ以降は記載不可となります）

2026/04/10 研修会のダイジェスト動画を更新しました。（令和7年度肝炎診療連携拠点病院 肝炎相談・支援センター関係者向け研修会 ダイジェスト）

2026/03/10 活動報告の作成中に一時保存が可能になりました。投稿フォーム内の下書き保存ボタンより下書きの保存、投稿作成ボタン横のプルダウンより下書きの呼び出しができます。

2026/03/02 【活動報告 新着投稿の通知方法変更のお知らせ】これまで新着投稿を都度メールにて配信していましたが、今後は前日分の投稿を翌日まとめてメールにて配信いたします。

2025/12/24 模範回答の先行2作をTopページから閲覧出来るようになりました。

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/15

最近の活動報告まとめ (PDFデータ) 4/8

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト (お役立ちサイト)

肝臓専門医一覧 (日本肝臓学会)

肝炎患者相談支援センター

肝炎患者の理解を深める
厚生労働省行政推進室事業費

働く人の肝炎検査と治療ガイド
厚生労働省科学研究費

システム管理者への伝言

操作ガイド (オンラインマニュアル)

相談内容の記録・検索・編集

公開事例 (2686件公開中)

質問箱

検索条件

相談内容の分類

- 病気自体に関して
- 病気の治療に関して
- 医療費助成制度に関して
- 日常生活上の留意点に関して
- 医療機関に関して
- 病気の偏見・差別に関して
- 仕事・就労支援について
- 肝炎訴訟について
- その他

肝炎患の原因

肝炎患の病態

(診断・治療・療養) 以外の相談内容の詳細

肝炎情報センターのピックアップ

フリーワード： 任意の語句を入力 複数条件検索：空白で区切

検索結果

性別 年代 肝炎患の原因 肝炎患の病態 相談内容の分類 その他分類

男性 70代 C型肝炎 肝がん 医療費助成制度に関して 助成制度

（院内肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の説明担当者より）
高額療養費超えのカウントが1回目の方がいる。今回の入院で高額療養費を超えれば2回目となる。今後も治療が続くようであれば申請説明を行う予定。今後の見通しを教えてください。

いつも申請説明をしては現在レンドマ導入目的が続く予定。効果検証がたりする場合は現時点では未定です。レンドマ後検討されている薬物療ですので、治療法変更時（申請説明担当者）と相談できるように説明

参考になった 0

性別 年代 肝炎患の原因 肝炎患の病態 相談内容の分類 その他分類

相談内容

助言・対応

女性 60代 B型肝炎 慢性肝炎/キャリア 病気の偏見・差別に関して 感染心配 差別偏見 日常生活の留意点

記録番号

103201

B型肝炎非活動性キャリアで前医で経過観察。腎臓の併発にと
もなう当院での抗ウイルス薬使用に際し、再活性化予防に核酸アナログ
を投与している患者さんの相談です。夫にB型肝炎について説明
していない。夫は病気のことで（腎臓）についても口うるさく
いう人なので感染リスクのある可能性のあるB型肝炎に関しては、
説明できず、悩んでいる様子であった。

B型肝炎は器具の使い回し・血液が粘膜に触れる以外の日常生活
で感染する病気ではありません。また、現在核酸アナログ治療
でHBV-DNAがPCR法で「検出せず」であり、感染させる心配は
まずありません。長い間、生活をともにしており、夫自体に感
染していないことの確認もできますので、B型肝炎に関する情報
の共有はしたほうが良いと思います。 担当医より説明するこ
とも可能であり、一度、一緒に受診していただいてもいいです
よ。

2026年6月

参考になった 0

<コメント> HBV感染心配(核酸アナログ内服時)

男性 40代 脂肪性肝炎患(MASLD/MASH) 肝硬変 病気自体に関して 医療機関に関して 退院病院

103415

43歳男性の母親より電話相談あり。本人はMASHによる肝硬
変で現在入院加療中である。主治医からは、生体肝移植につい
てはドナー候補がおりず適応が難しいこと、また脳死肝移植につ
いても現時点では登録の対象となるほど病状は進行していないとの
説明を受けている。一方で、本人は腹痛を強く訴えているが、主
治医からは「肝硬変そのものが腹痛の原因となることは通常少な
い」と説明され、ペインクリニックの受診を勧められている。家
族としては、本人の苦痛を少しでも軽減するため、転院・転院に
よる診療を希望している。相談者は、A県は健康意識が高く医療
も充実しているという印象から当相談窓口に連絡したとのこと
で、現在の病状でも速やかにA県内の医療機関へ転院することが
可能かどうかについて相談があった。

実際に診療をしておらず、検査データや画像所見なども拝見し
ていないため、現在の病状や治療方針について確定的なことをお
伝えすることはできません。腹痛については、主治医の先生がお
話されているように、肝硬変そのものが腹痛の原因となること
は一般的には多くありません。一方で、細菌性腹膜炎や肝周囲炎
など、肝疾患やその合併症が原因となって腹痛を生じる場合もあ
ります。そのため、腹痛の原因については、現在の主治医の先生
のもとで十分な評価を受けていただくことが大切です。また、B
県から医療的なつながりのないA県の医療機関へすぐに転院する
ことは、現実的には難しいと思われます。受診や転院を希望され
る場合には、現在の主治医の先生にご相談いただき、診療情報提
供などの正式な紹介を受けていただく必要があります。転院を
強く希望されるのであれば、まずはB県内の肝炎患診療に対応し
ている医療機関への紹介について、現在の主治医の先生とご相談
されることをお勧めします。また、ご不安なことや困りのこと
がありましたら、いつでも当相談窓口までご相談ください。

2026年7月

参考になった 0

⑤c-4 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い

相談対応の均てん化促進を目指して→2 模範回答事例とAI検索

本日までの全国総登録件数： 0 件 （自施設： 0 件）

New 2025/12/24 模範回答を掲載しました

- ウイルス性肝炎感染のリスク・感染予防の注意点
- B型肝炎訴訟給付金について



相談内容の記録・検索・編集

公開事例

質問箱

国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター主催

03:27

令和7年度肝疾患診療連携拠点病院 肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会 ダイジェスト

相談件数・
動向の閲覧

患者さんの
特徴把握

患者さんの特徴把握
フリーワード検索

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 4/20

最近の活動報告まとめ
(PDFデータ) 4/20

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト
(お役立ちサイト)

肝臓専門医一覧
(日本肝臓学会)

肝疾患相談支援センター

肝炎患者の
理解を深める

厚生労働行政推進調査事業費

働く人の肝炎検査と
治療ガイド

厚生労働科学研究費

システム管理者への伝言

操作ガイド
(オンラインマニュアル)

問い合わせ① ウイルス性肝炎 感染のリスク・感染予防の注意点

質問例 2

HBs抗原陽性を指摘されたがどうしたら？

回答案 (伝えて欲しい内容)

HBs抗原が陽性であった場合、
「B型肝炎ウイルスに現在感染している」ことを示します。

HBs抗原陽性の殆どが持続感染者、
一部が一過性感染者（急性肝炎）、稀に擬陽性のこともあります。

HBs抗原陽性の持続感染者は年率1%、
HBs抗原は消失するとされ、臨床的に治癒とも呼ばれています。

HBs抗原陽性の場合、慢性肝炎、肝硬変や肝がんのリスクがあり、
追加の血液検査としてウイルス量(HBV DNA, PCR 検査)を測定し、
抗ウイルス治療の適応を決めます。

このため、HBs抗原陽性の結果が出たら
必ず「全例」精密検査と専門医への受診が必要です。

治療が必要な場合、B型肝炎ウイルスを抑える薬を飲みますが、
それにより肝臓の状態をよく保ち、発がんなどのリスクを抑えられます。

家族やパートナーへの感染予防も必要になることもありますが、
血液や粘膜を介する以外、日常生活での感染リスクはありません。

問い合わせ① ウイルス性肝炎 感染のリスク・感染予防の注意点

回答するときの注意点

- 患者さんの不安を和らげるために
「無症状の方から、治療が必要な方まで幅がある」ことを伝え、
一概に「重い病気」とは言えないと、まずは説明する。
- 約90%が治療の必要はないが肝がんのリスクもあり、
必ず専門医療機関を受診、少なくとも年一回以上の画像検査が（継続受診）
必要であることを伝える。
- お近くの専門医療機関までを数施設ピックアップ、または肝ナビを紹介する。
- 日常生活での感染リスクは極めて低いことを説明し、
相談者から感染予防について詳細を求められたときに対応する。
- 必要に応じて「家族もB型肝炎ワクチンで予防できる」と伝える。
(自費 1回約5000円×3回 半年間)
- HBV給付金制度があることも伝える。
(※問い合わせ③「B型肝炎訴訟給付金について」参照)
- 「キャリア」「ALT」「HBV-DNA」などは分かりにくいため、
「持続感染状態」「肝機能値」「ウイルス量」等、平易な言葉で説明する。



問い合わせ⑤ 肝がん・重度肝硬変の治療に関する助成制度について

質問例

肝がんや重度肝硬変の治療に関する助成制度の
詳細や申請手続き、費用助成について教えてください。

回答案 (伝えて欲しい内容)

B型肝炎ウイルス・C型肝炎ウイルスによる肝がんまたは
重度肝硬変(非代償性肝硬変)と診断されている患者さん。

世帯年収が370万円以下等一定条件を満たし、24カ月以内に
2月以上自己負担が高額療養費の上限を超えた場合、
2月目以降の負担は1万円に軽減されます。

助成を受けるためには、
お住いの都道府県から参加者証の交付を受ける必要があります。
申請は保健所や市町村の窓口を通じて行い、
診断書や同意書等の書類提出が必要です。

模範回答事例作成委員会

八橋 宏	長崎県病院企業団 (国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター)	R7～
内田 義人	埼玉医科大学病院	
米田 正人	横浜市立大学附属病院	
興梠 慧輔	千葉大学医学部附属病院	
會田 美恵子	東京医科大学茨城医療センター	
橘田 彩	鳥取大学医学部附属病院	
橋本 まさみ	社会福祉法人 恩賜財団 福井県済生会病院	
立木 佐知子	徳島大学病院	R8～
野上 麻子	横浜市立大学附属病院	
梅木 みなみ	鹿児島大学病院	

⑤c-4 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い

相談対応の均てん化促進を目指して→2 模範回答事例とAI検索

AI アシスタントに質問

削除

user

B型肝炎給付金の説明方法について

assistant

B型肝炎給付金についての説明方法は、以下のポイントを押さえると良いでしょう。

1.

対象者の定義:

◦ B型肝炎ウイルスに持続感染している方。

◦ 昭和23年7月1日から昭和63年1月27日の間に、満7歳になるまでに集団予防接種を受けた方。

◦ 集団予防接種以外の感染原因（母子感染や輸血など）がない方。

◦ 給付金対象者から母子感染している方やその相続人も対象。

2.

給付金の金額:

◦ 給付金は病態に応じて50万円から3600万円まで支給される。

3.

申請手続き:

◦ 申請には診断書、接種歴、検査結果などの証明書類が必要。

◦ 手続きは弁護士に依頼することも可能。

4.

感染経路の確認:

◦ 集団予防接種等における注射器の連続使用が原因で感染したことを確認する必要がある。

user

B型肝炎ウイルスに持続感染している方とは？

assistant

B型肝炎ウイルスに持続感染している方とは、B型肝炎ウイルス（HBV）が体内に長期間存在し、免疫系がウイルスを排除できない状態のことを指します。特に、出産時や乳幼児期に感染した場合、約90%以上のケースで持続感染に移行します。この状態では、ウイルスが体内で活動を続け、慢性肝炎や肝硬変、肝細胞癌などの合併症を引き起こすリスクが高まります。

持続感染者は、HBVの感染が慢性的に続くため、定期的な医療管理が必要です。具体的には、HBVの活動性や肝機能をモニタリングし、必要に応じて治療を行うことが重要です（出典：[B型肝炎](#) | [肝炎情報センター](#)）。

2027年度公開予定

39

2027年度公開予定

⑤c-5 事業/事務担当者・システム責任・管理者へ改めてのお願い 相談件数が増加しない施設⇒システム内公開事例を参照をして体制を再計画に加えて

Q: 拠点病院全てが相談業務をしないといけないのか？相談支援センターの機能の統合(役割分担)等は？

併せて、基本指針を踏まえ、都道府県、肝炎情報センター、医師会等と協力した上で、地域の肝炎対策を担うものとして、専門医療機関やかかりつけ医との連携などを行うとともに、肝疾患相談支援センターを設置して、肝炎患者等への支援を行うものとする。

- ア 肝炎医療に関する情報の提供
- イ 都道府県内の専門医療機関等に関する情報の収集や提供
- ウ 医療従事者を対象とした研修や情報提供の実施
- エ 肝炎患者やその家族、地域住民等に対する講演会の開催や相談等による支援
- オ 専門医療機関等との協議の実施

また、上記アからオまでの機能のほか、肝がんに対する集学的治療が実施可能な体制が必要である。

なお、拠点病院は、都道府県において、地域の実情に応じ、1か所以上選定するものとするが、複数の拠点病院を選定した都道府県においては、適切な連携等により全体として上記アからオまでの機能が果たされるようにする。

都道府県ごとに適切な連携体制が構築され、全体として必要な機能が担保されていると認められる場合には、差し支えないものと考えられる * 補助金等の財政的な取扱いを伴うことから、十分に留意しつつ適切に対応いただく必要がある(肝炎対策室回答)

第20回 肝炎対策推進協議会	
平成29年11月6日	参考資料5

健発 0331 第8号

平成29年3月31日

←拠点病院について

なぜ国が肝炎対策を？⇒2002年から薬害肝炎訴訟

国が4連敗 薬害C型肝炎訴訟 8月21日

C型肝炎治療に補助金 9月6日

なぜ国が肝炎対策を？⇒2008年和解⇒「国策」

5. 事業・事務担当者・参加者へ「最後」のお願い

5d 予算（戦略的強化事業費）
と情報Cへの問い合わせ

⑤d-1 事業/事務担当者へ改めての（最後の）お願い 肝炎情報センター戦略的強化事業費（アンケートでは80%以上が内容把握）

肝疾患診療連携拠点病院の運営予算

- ・都道府県と国が1:1で支払う（上限1000万/施設）→情報Cの関与なし

平成27年(2015)度6月実施：肝疾患診療連携拠点病院事業に関する行事業公開プロセス→ 業務仕分け



肝疾患診療体制の強化における肝炎情報センターの役割についても大きな見直しが必要→支援・強化

- ・肝炎情報センターによる拠点病院の支援体制の強化
- ・地域全体の肝疾患診療ネットワーク強化
- ・複数のKPI（成果指標）の設定を通じたPDCAサイクル

*拠点病院より要求

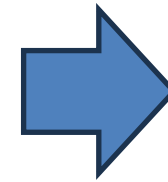
- ・情報C戦略的強化事業費を拠点病院へ委託*（2016～）
⇒約2.4億円

（2016年以降に始まったブロック会議・2023年に開始された肝炎対策に係る意見交換会も本事業に一貫）

⑤d-2 事業/事務担当者へ改めての（最後の）お願い 肝炎情報センター戦略的強化事業費

・戦略的強化事業費の内訳（拠点病院委託分）

- 肝炎専門医療従事者の研修事業(41) ()はR5年度委託施設
- 一般医療従事者の研修事業(40)
- 市民公開講座、肝臓病教室の開催(62)
- 家族支援講座の開催(17)
- 肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業の実施(13)
- 肝がん事業促進事業 (New)



成果物（Agenda, ちらし、動画、参加人数等）は共有
→HP等で情報発信

例 肝臓学会主催の市民公開講座開催数減少（隔年）→本事業費を利用して開催可能

上記に関わるコミュニケーションツール作成、講師への謝金も使用可能 注意：人件費使用は次年度予算が確保でない可能性有

○旅費（開始時間午後、会議時間短縮で対応してきましたが）

情報センター主催会議参加としては使用不可⇒肝炎情報Cへ旅券を送付＋2か月後に振込

＋旅費にも源泉徴収用＋始発・終電で戻れるなら宿泊不可



今年度から、参加者間で意見交換（全員が発言）することで 専門医療or一般医療従事者の研修事業として使用可能→積極的な発言と意見交換時間で情報共有が必須→連絡協議会 1回2名分X2 肝疾患相談・支援センター研修会 1回1名分X1 スキルアップ研修会1回1名分 計6名分 事前に予算請求

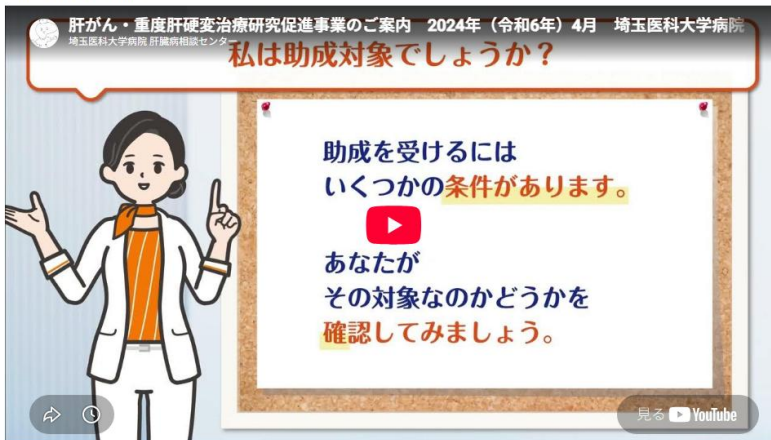
⑤d-3 事業/事務担当者へ改めての（最後の）お願い 肝炎情報センター戦略的強化事業費の成果物提供と予算使用の明記を

肝炎情報センター戦略的強化事業委託費

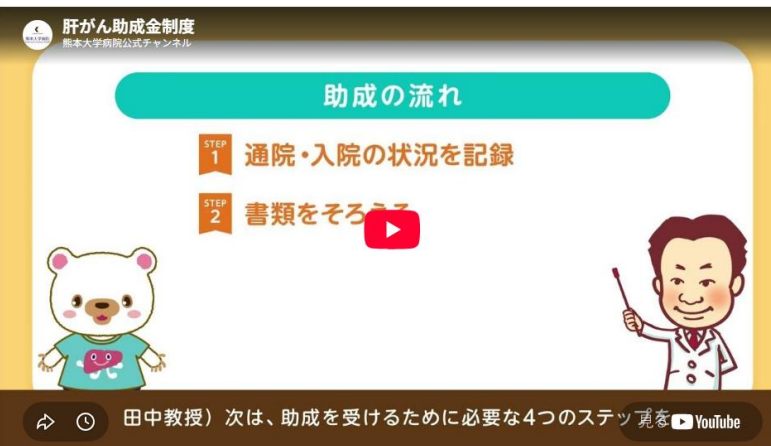
肝がん重度肝硬変研究促進事業

動画 ＊都道府県によって助成方法が異なる場合があります

✓ 埼玉医科大学病院



✓ 熊本大学病院



就労支援モデル事業



この事業は、厚生労働省が行う
「肝炎患者の就労に関する総合支援モデル事業」の助成を基に
実施されています。

肝炎情報センター戦略的強化事業費作成された資材は掲載→リーフレット・Agenda・HP・動画等作成時 予算名を追記

⑤d-4 **事業/事務担当者**へ改めての (最後の) お願い
肝炎情報センターへの問い合わせ担当(mail→電話はできるだけ9時~16時)

情報C戦略的強化事業費等の予算執行→ 中上・西村

情報センター関連会議の出席・会議内容→ 宮永・小山 (情報C事務局)
(+拠点病院名簿含)

ホームページ掲載内容(リンク・資料提供・FB共有)→魚住(お問い合わせフォーム)

*情報センター独自で啓発資材を作成してはいません→ホームページに掲載されている成果物であれば、
お問い合わせフォームから連絡頂き、担当者をご紹介or担当者から折り返し返信します

相談支援システム→システム管理・運用担当係(外部) kanen-soudan@datalake-sys.co.jp

協議会・ブロック会議終了後アンケート→回収事務局(外部) kanen@japan9.com